

登録コード	SG102106	開講年度	2026					
授業題目	新入生ゼミナール				担当教員	柴田 直樹 他		
英文授業名	Fresher's Seminar				副担当	高橋 耕一・高梨 功次郎・小笠原 慎治・松本 卓也・東城 幸治		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・3 時限		対象学年	1年
講義室	理学部第2講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】			
	2 6 Sカリ, 2 5 Sカリ, 2 4 Sカリ, 2 3 Sカリ							
	【2023年度以降加付対象】幅広い教養および理学の基礎知識				各研究室で行われている現在進行形の研究内容に触れ、どのような疑問があるかを理解する。			
	【2023年度以降加付対象】理学の各分野における専門知識				各研究室で行われている現在進行形の研究内容に触れ、どのような疑問があるかを理解する。			
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	(1) 順調な大学生活を送るための諸ガイダンスを行う。 (2) 理学部理学科生物学コースの各教官の理念に触れる。 (3) 理学部理学科生物学コースの各研究室で現在行われている研究内容に触れる。							
(5)授業のキーワード	研究室紹介、様々な分野の現在の研究状況							
(6)授業計画	(1) こころの健康・大学生活 (2) 図書館ガイダンス (3) 情報セキュリティ (4) － (1 5) 各教官の理念、研究内容紹介 (1 6) 授業アンケート							
(7)成績評価の方法	各教官から推薦図書が提示される。それらリストの中から、少なくとも一冊を選び、精読して期限までに感想文を提出することが求められる。							
(8)成績評価の基準	(1) 指示した内容で書かれており、(2) その上で自分の見解を提示できており、(3) 教員を感心させるレベルにある。(1) から (3) のうち、すべてできていれば「かなり上にある」、2 項目までできていれば「やや上にある」、1 項目のみできていれば「水準にある」。							
(9)事前事後学習の内容	授業後に研究室紹介のHPなどに目をとおしておくこと。些細なことであっても紹介された研究内容等に興味や疑問があったら、積極的に研究室訪問し尋ねること。。							
(10)履修上の注意	質問、相談は各教官が随時対応する。1 年生には判りにくい内容も含まれることがあるが、どの教官についても研究室を訪ねて質問等をする事は、まったく構わない。その際には、できればメールで在室時間の確認をした方が良い(教官のいる部屋がどこかわからないときは同時に尋ねてください)。							
(11)質問,相談への対応	随時。							
【教科書】	なし。							
【参考書】	研究紹介時に各教官より、おすすを紹介します。							